

まちで出会う音楽とアート

ASSEMBRIDGE
NAGOYA

MUSIC / ART / MINATOMACHI

ASSEMBRIDGE NAGOYA

2017 アssenブリッジ・ナゴヤ 2017

2017.10.14 Sat. - 12.10 Sun.

会期中の木曜、金曜、土曜、日曜開催 Open Thursday to Sunday

会場 | 名古屋港～築地口エリア一帯

VENUES | Around the Nagoya Subway TSUKIJIGUCHI Station to
NAGOYAKO (Port of Nagoya) Station area



ASSEMBRIDGE
NAGOYA
2017

www.assembridge.nagoya

参加アーティスト

朝海陽子

1974年、東京都生まれ。同地在住。

「見る／見られる」という関係性に着目し映画を見る人たちを捉えた写真作品《sight》や、ある一軒の家をルールに基づいて撮影した《22932》のような人と物の痕跡を物語のように浮かび上がらせる写真作品で知られている。近年は、風や潮の満ち引きといった自然現象を被写体として、自然と日常の時間が織り重なる重層的な風景を捉える作品を制作している。今回は、沖縄県・西表島に滞在し、数ヶ月かけて同一地点の干潮時と満潮時の風景を繰り返し撮影した作品シリーズ《pace》を中心に発表する。

www.yokoasakai.com



1

一柳 慧

1933年、兵庫県生まれ。東京都在住。

現代音楽家・作曲家。

アメリカ前衛音楽を日本に紹介するとともに、室内楽、オーケストラ曲、映画音楽、邦楽器のための作品からオペラまで幅広い作品を創作。時間芸術である音楽の「空間性」に注目し、時間芸術としてだけではない、時間と空間が相互に浸透し共存する音楽の在り方に関心を寄せる。

本展覧会テーマの着想元となった《タイム・シークエンス》(1976)に関する楽譜や映像資料、自身の図形楽譜なども展示。また会期中《タイム・シークエンス》のコンサートやトークも行う。

L PACK.

小田桐奨と中嶋哲矢のユニット。

「コーヒーのある風景」をテーマにアートやデザイン、建築、民藝など領域を横断し、コミュニケーションの場を創造する。名古屋ではあいちトリエンナーレ2013期間中、NAKAYOSI名義で《VISITOR CENTER AND STAND CAFE》を運営。

2016年に空き家再生スクール参加者とともに、約20年間空き家だった旧・寿司店を《UCO》として新たに再生させ、人びとが集う「社交場」として、その機能を受け継ぐ。新しく生まれ変わった場所が港まちの一部になることを目指し、今年も会期中さまざまな企画を試みる。

www.lpack.jp



2

グエン・チン・ティ

1973年、ベトナム生まれ。ベトナム・ハノイ在住。

ベトナムの歴史の中に埋没した記憶を、映像を用いて掘り起こすような作品を手がける。また、ベトナムの独立系ドキュメンタリー映画製作を支援する組織「Doc Lab.」の運営なども精力的に行っている。作品にはファウンド・フッテージの手法がしばしば用いられ、今回発表される作品《Vietnam the Movie》も、フランスやハリウッドをはじめとする各国の映画でベトナムが描かれたシーンをコラージュすることで、他者の目から見られたベトナムのイメージを浮かび上がらせている。

www.nguyentrinthi.wordpress.com



3



4

1 朝海陽子《13.7 大潮》2013 ラムダプリント、《14.7 大潮》2013ラムダプリント

2 一柳 慧

3 L PACK. 《UCO》 2016

4 《Vietnam the Movie》2016 映像(カラー・モノクロ サウンド)

参加アーティスト

小山友也

1989年、埼玉県生まれ。神奈川県在住。

社会の中で生きる私たちが、社会の中にあるさまざまな既存の枠組みからいかに逸脱し、外へと開いていくかを考察し、制作活動に反映。自明のものとされる枠組みを解体・再構築し、それ自体に介入・侵食することで、既存の対象との関係性とは異なった関係性やコミュニケーションを生み出す。今回は、日常で時折耳にする他人のヘッドフォンやイヤホンの音漏れに合わせてダンスをするパフォーマンスを記録した作品《Dancing by myself》を展示。よりまちへと密接した場所で見せることを試みる。

www.yuyakoyama.tumblr.com



5

鈴木光

1984年、福島県生まれ。ドイツ・ベルリン在住。

実験映画やドキュメンタリー映画を中心に映像作品を制作。撮影者と被写体の対話によって真実を語らせる手法である「シネマ・ヴェリテ」を今日的に解釈し、現実性と虚構性の間を往還するような独自の映像世界を作り出している。現実と虚構を錯綜させ観る者にわずかな違和感を与えることで、日常の中に埋没するドラマを掘り起こす。

今回は2008年に制作した《Doraemon》を発表。本来そこにあるはずのモノの不在による違和感や別の時間軸が存在するようなパラレルな感覚を喚起する。



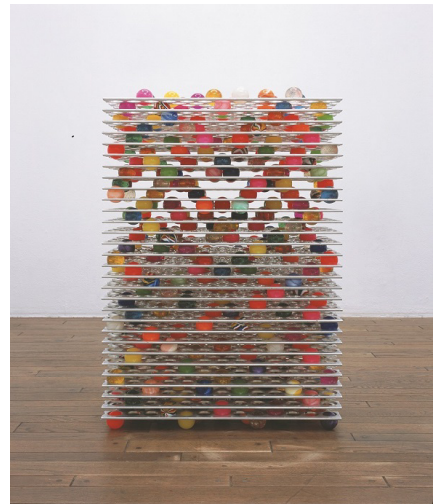
6

冨井大裕

1973年、新潟県生まれ。神奈川県在住。

身の回りにある日用品を組み合わせて彫刻作品を制作。ある「物」をそれがあらかじめ持つ用途とは異なる使用方法や視点から扱うことで、「物」が潜在的に秘めている新たな可能性を顕在化する。金槌の「釘を打つ」という用途とは別の視点から作家自身が発見した「金槌のヘッド部分を下にする事で自立する」という特徴を生かした作品《woods》などからも伺えるように、物を精緻に観察することで、物本来の用途を超えた「かたち」や「構造」に着目し、彫刻という概念そのものを探求している。

www.tomiiimotohiro.com



7

豊嶋康子

1967年、埼玉県生まれ。同地在住。

日常生活の中で人々が無意識のうちに従っているさまざまな制度やシステム、例えば定期の目盛りや金銭を流通させるための銀行という仕組みに手を加え、鑑賞者にそれらを意識させるような作品を制作。鉛筆の中心を削り「書く」という機能を逸脱させた《鉛筆》シリーズに代表されるような、日常的なモチーフにあえて歪みを生じさせるユーモラスでコンセプチュアルな作品で知られる。今回は、平面と表裏の関係を明示させる《パネル》シリーズを中心として 旧・名古屋税関港寮の空間に構成した作品を展示。

www.toyoshimayasuko.com



8

5 小山友也《Dancing by myself》2015 映像

6 鈴木光《Garden》2016 映像

7 冨井大裕《ball sheet ball》2006 アルミ板、スーパーボール Photo | Masaru Yanagiba

8 豊嶋康子《パネル#32》2014 木、オスモ塗料

参加アーティスト

野村 仁

1945年、兵庫県生まれ。大阪府在住。

自然現象や物理法則が織り成す造形を観察し、写真を用いた彫刻表現で宇宙の秩序を可視化する。5本の線を写し込んだフィルムで月や星あるいは渡り鳥を撮影し、音符に見立てた楽譜を制作するなど、活動初期より音楽を重要視した作品を展開。

今回は《'moon' score》シリーズより、1970-80年代に地上から撮影した月の譜と、2009-13年にJAXAとの共同制作によりISS(国際宇宙ステーション)から撮影された月の譜を共演させ、それぞれに紡ぎ出された音の旋律とともに発表する。



9

法貴信也

1966年、京都府生まれ。同地在住。

「2本画」という平行する2色の線で描かれる描画技法を編み出し、キャンバスという一つの平面上に奥行きある空間や重層的な時間を描き出すドローイングやペインティングを制作。折り重なる線や白色面の層は平面でありながら空間を感じさせ、また線が描かれた時間の堆積をも表現する。平行する2色の線で描かれる線描は、あるイメージを描きつつも一方で重なり合う色の線の塊のようでもあり、具象と抽象の間を往来する多層性を持つ。今回の展示では、旧・名古屋税関港察の空間を建築的に読み替え、絵画作品を発表する。



10

山城大督

1983年、大阪府生まれ。愛知県在住。

映像の持つ時間概念を空間やプロジェクトにトランスメディアした作品を制作。

「タイムベースド・メディア・インスタレーション」と題した独自の手法を提示映像の編集で用いられるカットアウト、モンタージュ、インサートショットといった技法を実空間上で応用・再構成することで「空間化された映像」を作り出している。

今回は、港まちでのフィールドワークを基に、同時多発的に発生するまち中での出来事の組み合わせによって、「時間」を体感する新作を発表。

www.the.yamashirostudio.jp

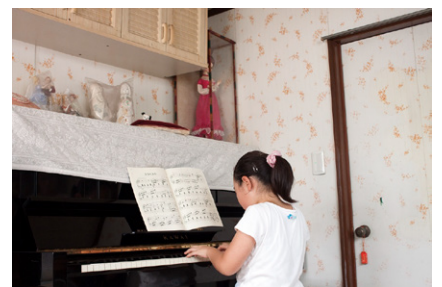
ユーアン・マクドナルド

1965年、イギリス・スコットランド生まれ。アメリカ・ロサンゼルス在住。

写真、映像、ドローイング、サウンドなど、さまざまなメディアを組み合わせたインスタレーションを展開。日常や都市空間の中に隠れている無限の空間と時間の観念を、多様なイメージや音響によって顕在化させる。

今回は、テレビやラジオのために人工的に生成された疑似効果音を収録した、BBCアーカイブのLPレコードがターンテーブルの上で回転する様子を撮影した《The Filed》を中心に、名古屋港エリアのまちなかにも、場所とリンクするように複数の映像作品を展示する。

www.intrvl.net



11



12

9 野村仁 《'moon' score》1979 写真© Hitoshi Nomura

Photo courtesy of ARTCOURT Gallery

10 法貴信也 《無題》2014 アルミ樹脂複合板に油彩

11 山城大督 《Time flows to everyone at the same time.》2009 ミクストメディア

12 ユーアン・マクドナルド 《The Filed》2008 映像(2チャンネル)